

基地対策特別委員会記録 【速報版】

令和7年12月2日開会

速報版

- ・この会議録は録音を文字起こしした初稿のため、誤字脱字がある場合があります。
- ・正式な会議録が作成されるまでの暫定的なもののため、今後修正されることがあります。
- ・正式な会議録が掲載された時点で速報版は削除されます。

横 浜 市 会

開会時刻 午後 1 時30分

◎ 開会宣告

- 山田一誠委員長 定刻となりましたので、これより委員会を開会いたします。
- 本日の欠席委員は、白井亮次副委員長が欠席となっております。御了解ください。
- 上着の着用は御自由をお願いします。



◎ 関係局長挨拶及び職員紹介（部長職以上）

- 山田一誠委員長 議題に入ります前に、11月 1 日付で職員の異動がありましたので、樹岡局長よりの御挨拶並びに職員の紹介をお願いいたします。
- 樹岡都市整備局長 11 月 1 日付で都市整備局長に着任しました樹岡龍太郎でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

山田委員長、坂本副委員長、白井副委員長はじめ委員の皆様方におかれましては、引き続き市内米軍施設の返還、それから跡地利用の推進に向けまして、御指導、御鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

また、11 月 1 日付で当局の幹部職員に変更がございましたので、紹介させていただきます。

（職 員 紹 介）



◎ 市内米軍施設の現況等について

- 山田一誠委員長 それでは、議題に入ります。
- 初めに、市内米軍施設の現況等についてを議題に供します。
- なお、当局からの発言に際しては、着座のままで結構です。
- 当局の説明を求めます。
- 樹岡都市整備局長 市内米軍施設の現況等について御報告します。
- 資料につきましては、浦山基地対策担当部長から説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。
- 浦山基地対策担当部長 基地対策担当部長の浦山でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- それでは、お手元の資料 1、市内米軍施設の現況等についてを御覧ください。
- 下線で表記した事項を中心に御説明いたします。
- 次のページを御覧ください。
- 1、前回委員会の令和 7 年 9 月 30 日以降の主な経過でございますが、10 月 3 日、防衛省から、令和 7 年度自衛隊統合演習に伴う瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックでの訓練実施について、本市に連絡がありました。
- 次のページを御覧ください。
- 10 月 21 日、防衛省から、北富士演習場における米軍の訓練実施に伴う瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックでの物資の搬出入について、本市に連絡がありました。
- 次のページを御覧ください。
- 11 月 7 日、厚木基地騒音対策協議会において、厚木基地における米空母艦載機の夜間連続離着陸訓練に

よる航空機騒音の解消等に関する要請書が決定され、11月12日及び13日に日米両国政府に対し要請行動を実施しました。

次のページを御覧ください。

11月27日、本市が防衛省に対し、国の制度及び予算に関する提案・要望を実施しました。

要望内容としましては、1、市内米軍施設の早期返還、特に根岸住宅地区の早期返還。

2、市内米軍施設とその周辺における市民生活の安全・安心の確保及び適時適切な情報提供。

以上について要望いたしました。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

- **山田一誠委員長** 説明が終わりましたので、質疑に入ります。
- **古谷靖彦委員** 先ほど御説明いただいた国への要望を市長がされたというのは新聞報道ベースでは見たのですけれども、この要望1の早期全面返還だという要望については、小泉大臣のほうからはどういうやり取りをされたのかというのを教えてください。
- **樹岡都市整備局長** この2点、御要望させていただきまして、小泉大臣からは、隣の市の御出身ということもあって横浜の状況はよく理解している、防衛省としてできることはしっかり取り組んでいきたいといった旨の御発言がありました。終始会談としては和やかに進み、また横浜市に防衛省としても連携して、あるいは協力して取り組んでいくというようなことは、改めて確認できたのかなというふうに感じております。
- **古谷靖彦委員** そういう報道ベースでは見たのですけれども、一方で10月3日に本市に連絡があって、ノース・ドックで訓練が行われたということなのですけれども、これについては、私から見ればやっぱり明らかに基地機能の返還の流れではなくて、基地機能の強化の流れになっているのじゃないかと思うのですけれども、その点は局長はいかがお考えですか。
- **樹岡都市整備局長** 10月3日の通知につきましては、毎年行われている自衛隊の統合演習の実施ということでございまして、自衛隊が自衛隊の職務を訓練し、また確認すると、そういった一環であるというふうに認識しております。
- **古谷靖彦委員** この自衛隊の統合演習の訓練というのは毎年行われているのでしたっけ。
- **樹岡都市整備局長** 毎年度行われていると認識しております。
- **古谷靖彦委員** 早期全面返還ということを横浜市は要望しているわけですよね。そのことと、米軍施設を使つてという言い方が正しいか分かりませんが、そこで訓練を行うということについて、そこが基地としての機能を強化していくという流れにしかやっぱり見えない話だと思うのです。だとすると、先ほど和やかに合意をされたというふうに言われたこととちょっと相違が出てくるのではないかなというふうにやっぱり思うのです。ですから、そのところは、米軍施設ですから米軍に対して言うことと、一方で国が所管していることについては、改めて基地機能につながらないようにしっかり求めていただきたいというふうに思います。
- **伏見幸枝委員** 今のお話に関連してという話にはなってしまうのですけれども、この10月3日の自衛隊の総合演習という部分について、訓練された内容みたいな部分とか、あとノース・ドックストックでのこの訓練というものは今回が初めてなのか、それとも何回か行っているのか、その辺をお聞かせいただければと思います。
- **浦山基地対策担当部長** 10月3日に通知のあった訓練につきましては2つございまして、1つは、基地

警備訓練というものを行っております。もう1つは、高射部隊の機動展開訓練ということで、その2点を行っております。

ノース・ドックについては様々な訓練の場所にはなっておりまして、例えば米軍単独で行うもの、日米が合同で行うもの、また今回みたいに自衛隊単独で行うものとそれぞれでございます。今回の自衛隊の統合演習につきましては、特にノース・ドックに固定してやっているものではなくて、防衛省からの応答ですと様々な場所においてということで、たまたま今回、ノース・ドックを選定したと、そういう連絡は受けております。

○ 伏見幸枝委員 分かりました。ありがとうございます。

○ 山田一誠委員長 ほかにございますでしょうか。

他に御発言もないようですので、本件についてはこの程度にとどめます



◎ 根岸住宅地区における土地利用の方向性について

○ 山田一誠委員長 次に、根岸住宅地区における土地利用の方向性についてを議題に供します。

当局の説明を求めます。

○ 浦山基地対策担当部長 それでは、お手元の資料2、根岸住宅地区における土地利用の方向性について、その2を御覧ください。

下線で表記した事項を中心に御説明をいたします。

次のページを御覧ください。

1、根岸住宅地区の検討状況でございますが、前回の基地対策特別委員会で、横浜市立大学再編の状況を踏まえた土地利用の方向性をお示しさせていただきました。その後、市民意見募集を10月20日から11月19日の期間で行いましたので、今回は頂いた意見の状況と今後の進め方を御報告いたします。

都市計画手続に向けた進め方は以下の図のとおりでございます。

次のページを御覧ください。

2、市民意見募集でございますが、土地利用の方向性について市民意見募集を実施し、延べで357通、延べで841件の御意見を頂きました。市が提示した土地利用の方向性に対しまして、土地利用の考え方に関してはおおむねの賛同を得られましたが、道路・交通に関しては課題や改善の意見がございました。

次のページを御覧ください。

3、土地利用の考え方でございますが、左側の意見募集で示したゾーニングとゾーンごとの方向性は以下のとおりです。

右側の主な意見の概要といたしましては、地区周辺に不足する生活利便施設の導入を求める意見が多く寄せられました。また、医療・健康をテーマに、市大医学部と企業等が連携した市民参加型の研究の推進や、社会人大学院、図書館等の文教機能を求める意見がございました。次に、森林公園の拡張に当たり、一等馬見所の保全活用と一体となった計画、子供や高齢者等が安心して憩い遊べる公園づくりを求める意見がございました。その他、医療機能の強化、次世代技術の導入、周辺と調和したゆとりある住まいづくり、町並み景観への配慮などの意見がございました。

今後の対応でございますが、頂いた御意見を参考に、今後の計画をさらに深めてまいります。

次のページを御覧ください。

左側の意見募集で示した道路と緑のネットワークの方向性については以下のとおりです。

右側の主な意見の概要といたしましては、根岸森林公園拡張部に設ける道路について、公園利用の分断、一等馬見所保全活用への支援、安全性等の観点から見直しを求める意見がございました。また、地区周辺のアクセス道路の改善を求める意見や抜け道とならない対応、公園の駐車場増設を求める意見がございました。交通アクセスの改善について、エレベーター等の設置や新しい交通システムの導入等を求める意見がございました。

今後の対応ですが、根岸森林公園拡張部の道路計画については、全体計画との整合なども考慮しながら検討してまいります。周辺アクセス道路等については、全体計画との整合や物理的状況も考慮して検討を進めてまいります。交通アクセスの改善につきましては、新しい技術の動向なども見ながら、継続して検討いたします。

次のページを御覧ください。

5、今後のスケジュールでございますが、跡地利用のための仮称新根岸地区土地区画整理事業については、下記のスケジュールを目標に、各種調査や手続等を進めてまいります。事業の推進に当たっては、土地区画整理事業の区域や関連する事業の内容を精査しながら、土地利用計画を策定してまいります。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

- **山田一誠委員長** ありがとうございました。
説明が終わりましたので、質疑に入ります。
- **古谷靖彦委員** これから見に行くところではあるのですが、土地利用の考え方とところで、生活利便施設の導入を求める意見が多いということが出されています。アクセス道路の問題とちょっと関連しているのですけれども、これは何らかの外から人が来ることを目的とした生活利便施設のことなのか、その周辺に住んでいる方のためのものなのか教えてください。アクセス道路がどのぐらい必要なのか、あるいは抜け道とならないようにというのも、そこも微妙な言い回しだなと思いながら見ているのですけれども。
- **浦山基地対策担当部長** 市民意見でございますけれども、寄せられた方々は結構近隣の方が多くございまして、意見としては、必ず一つの方角という意見はなく、中にはやっぱり広域から集めるような施設をつくるべきという御意見を頂く方もいらっしゃるのですが、大半は近隣の方が多かったものですから、やはり自分の身の回りに不足している、本当に買い回りのスーパーであるとかドラッグストアであるとか、そういうものを求められている方が多かったということと、あとやはり道路に関する意見が近隣の方から非常に多く寄せられているところでございまして、道路をパンクさせてまで何か利便施設を持ってこいというトーンではないのかなというふうに感じ取っているところでございます。
- **古谷靖彦委員** 分かります。ニュアンスがよく分かります。

ここの土地利用を考えたときに、どうやって道路を抜けていくのかという議論が一定あったと思うのですが、じゃあここは何のために使うところなのかということを考えたときに、ここの場所がにぎわいの場所になるようなことを目的としてするのであればそういう発想はあるとは思いますが、もしそうでないのであれば、道路の問題は最低限のものにとどめることも、あまり抜け道になってはならないのだろうということは周辺の方も、私も何人か伺ってはいるのですが、そういうふうにならなく感じるところなので、そこはよくよく、計画についてはもう少しまだ時間があると思いますから、しっかり固めていただきたいというふうに思います。周辺の声をよく聞いていただきたいと思います。

- **高田修平委員** 今、答弁にもありました周辺の方の意見が多いといったところで、主な意見の概要のところで、交通アクセスの改善についてというのは分かるのですが、エレベーター等の設置というのは具体的にどういった意見だったのか教えていただきたいのですけれども。
- **浦山基地対策担当部長** 根岸の住宅地区は根岸駅から高低差でいくと四、五十メートルぐらいあって、かなり皆さん、上下動に御苦労されている方が多いという状況がございます。ちょうど根岸の隣に磯子駅というのがございまして、昔、磯子の駅の崖の上にプリンスホテルがあつて、その跡地がマンションになっているのですけれども、そのマンション開発をする際に一般の方も使えるエレベーターを磯子駅と同じレベルから上まで上げて造っているという事例なども皆さん近隣の方でよく御存じでありまして、同じようなエレベーターを根岸で造れないのかと、そういった御意見というふうに理解をしております。
- **高田修平委員** 近隣の方の意見も非常に重要だと思いますが、これは横浜市の大きな計画の一つでもありますので、外からも中からもいろいろ来ていただけるような、納得いただけるような計画にしていいただければと思います。よろしくお願いします。
- **山浦英太委員** 最初の項目と併せて、質問というか教えていただきたいのですけれども、この基地返還が合意されたことで、横浜市内において経済活性化などのこういった土地利用の検討ができるわけですが、そもそも論ですけれども、この米軍基地返還に当たって、これはメリットの一つ、横浜市にとってどうプラスになっているかということだと思います。基地返還が行われることで、何かデメリットの部分、そういった部分にちゃんとフォーカスを当てて、それを表に出して市民の方に知ってもらって、そういった議論とか、そういったものを発信しているのかどうか、その辺の確認をさせてください。
- **浦山基地対策担当部長** 今頂いた御質問ですけれども、メリットといたしましては、やはり戦後 80 年近くにわたって、地域にこういう巨大な施設があると。それがまちの発展の支障になっていたり、また市民の安全・安心を脅かす存在になっていたと。こういったものが解消されて、今的にこういう広大な跡地が生まれるということはいろんな使い道があると、これはメリットとして考えられることだと思っております。
- ただ1点で、デメリットといたしましては、前回の委員会でも議論がございましたように、例えば米軍の利用であれば、この根岸に関して言うと、非常に低密度だったものですから周辺の道路問題というのが顕在化しなかったわけですが、これが例えば、返ってきて、今回の意見でもあるように道路問題をどうするのだという、こういうことに応えていかなければいけないと。こういうことも、前回、たしか委員会のときにきちんとそういったことを説明しながら、跡地利用の計画は市民に説明しながら進めていくべきだということでございまして、そういったことに留意しながら進めていきたいと、こういうふうに考えているところでございます。
- **山浦英太委員** ちょっと質問の仕方が悪かったかもしれないのですけれども、要は安全保障のところとか、有事のときに関しての他国に対しての抑止力、そういったものも失われる可能性もなくはないと。僕が言いたいのは、そういったことは議論されて、オープンにされて、市民の方々にも知ってもらってもいいんじゃないかと。何かタブー化して、そういうところとかを話をしないで、返還することによってこういったメリットがある、経済的にも横浜のためだというのも非常に重要なだけでも、その分、もうちょっと議論されていることをオープンに。今、有事のときに、じゃあ他国に対しての抑止力が失われるのじゃないとか、そういったことの議論があつて、それがオープンにされてもいいんじゃないかということを僕は言っているのですけれども、その辺に関してどう思いますか。

- **浦山基地対策担当部長** 基地の在り方については、日米間で、まさに国家間で話し合われているところでございます。特に、基地の返還につきましては、地元自治体としては、先ほど申し上げたように、まちづくりの阻害等があるので返還してほしいという声を上げているところでございますが、実際のところ、基地の返還を決定するのは今、米側にありまして、日米地位協定でも、米軍が、米側が必要がなくなったときに返還されるということでございまして、この根岸住宅地区につきましても、かつては池子住宅の新規住宅の代替ということで返還が決まったところはございますが、今現在はそちらも横須賀基地のほうで充足しているということで、本当に要らなくなったから今回については返ってきたということでございます。
- **山田一誠委員長** ほかに御発言はありますでしょうか。大丈夫でしょうか。
他に御発言もないようですので、本件についてはこの程度にとどめます。



◎ 閉会宣言

- **山田一誠委員長** 以上で本日の議題は全て終了いたしましたので、委員会を閉会いたします。
ありがとうございました。

閉会時刻 午後1時51分

速報版